



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 株式会社アイナボホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7539 URL http://www.ainavo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部一成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 奥山学志 (TEL) 03-4570-1316
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	67,146	4.2	1,620	△1.8	1,849	△1.2	1,003	△9.9
2023年9月期第3四半期	64,453	10.3	1,649	△1.9	1,871	△1.2	1,113	△21.3

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 1,084百万円(△14.3%) 2023年9月期第3四半期 1,265百万円(△0.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	86.76	—
2023年9月期第3四半期	96.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	44,178	24,649	55.8
2023年9月期	44,002	24,179	55.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 24,649百万円 2023年9月期 24,179百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	23.00	—	21.00	44.00
2024年9月期	—	22.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	6.9	2,100	18.6	2,300	11.2	1,450	13.8	125.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期3Q	11,647,820株	2023年9月期	11,647,820株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	82,080株	2023年9月期	82,045株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期3Q	11,565,763株	2023年9月期3Q	11,565,806株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は671億46百万円と前年同四半期に比べ26億93百万円(4.2%)の増収となりました。

損益面につきましては、売上総利益額は前期比で5.1%増加したものの、人件費等の販管費が増加したことにより、営業利益は16億20百万円と前年同四半期に比べ29百万円(1.8%)の減益、経常利益は18億49百万円と前年同四半期に比べ21百万円(1.2%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は買収に伴う合併損を特別損失に計上したため、10億3百万円と前年同四半期に比べ1億9百万円(9.9%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(戸建住宅事業)

戸建住宅の市況につきましては、住宅リフォーム市場の景況感は概ね前年並みで推移したものの、新築住宅の着工数につきましては、貸家は前年並みで推移し、戸建分譲、持家は前年割れが常態化しており、当面の間は回復が見込めない状況で推移しました。

このような事業環境のもと、タイル及び建材関連販売につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、タイル及び内装建材の販売が増加したことによるものであります。タイル及び建材関連工事につきましては、売上高は前年並みで推移しました。その主な要因としましては、サッシ工事は増加したものの、外壁工事及びエクステリア工事が減少したことによるものであります。住宅設備機器関連販売及び工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、ユニットバス、太陽光発電機器の工事が増加したほか、衛生陶器、エアコンの販売が増加したことによるものであります。

以上の結果、戸建住宅事業の売上高は560億91百万円と前年同四半期に比べ12億1百万円(2.2%)の増収、セグメント利益は、粗利率の減少や販管費の増加により21億62百万円と前年同四半期に比べ1億66百万円(7.1%)の減益となりました。

(大型物件事業)

大型物件事業の市況につきましては、新築マンション着工数は直近6か月累計で前年を下回っているものの、民間非住宅投資は前年比プラスで推移し、公共建設投資についても概ね前年を上回る状況で推移しており、非居住用を主として回復基調となりました。

このような事業環境のもと、タイル及び石材工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、前期に子会社化した石材工事会社が連結業績数値に加わったこと、首都圏の大型タイル工事が完成したことによるものであります。住宅設備販売及び工事につきましては、売上高は前年比マイナスで推移しました。その主な要因としましては、集合住宅向けのユニットバスやキッチン工事の受注量が減少したことなどによるものであります。

空調衛生設備工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、コロナ禍後の民間改修工事が再開したことや公共物件工事が順調に進捗したことによるものであります。

以上の結果、大型物件事業の売上高は110億55百万円と前年同四半期に比べ14億92百万円(15.6%)の増収、セグメント利益は、空調関連工事が回復したことにより6億57百万円と前年同四半期に比べ1億82百万円(38.4%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億76百万円増加し、441億78百万円となりました。これは主として、現金及び預金が10億3百万円、投資有価証券が2億8百万円、のれんが2億5百万円増加した一方で、子会社株式（投資その他の資産、その他）が13億53百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億94百万円減少し、195億28百万円となりました。これは主として、短期借入金が4億円、ファクタリング未払金が2億15百万円増加した一方で、未払費用（流動負債、その他）が6億54百万円、未払法人税等が2億51百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億70百万円増加し、246億49百万円となりました。これは主として、利益剰余金が3億89百万円、その他有価証券評価差額金が1億15百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月13日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,246,176	11,249,682
受取手形・完成工事未収入金等	14,383,189	14,268,549
商品	905,569	1,158,878
未成工事支出金	2,960,167	3,068,618
販売用不動産	601,624	598,586
その他	1,087,487	1,217,793
貸倒引当金	△17,003	△18,863
流動資産合計	30,167,212	31,543,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,313,291	1,294,642
機械装置及び運搬具（純額）	5,689	6,972
工具、器具及び備品（純額）	92,913	95,549
土地	5,145,860	5,143,360
リース資産（純額）	43,821	65,364
建設仮勘定	4,957	2,765
有形固定資産合計	6,606,533	6,608,654
無形固定資産		
のれん	90,702	296,228
その他	127,115	151,183
無形固定資産合計	217,818	447,412
投資その他の資産		
投資有価証券	2,274,380	2,482,406
長期貸付金	5,000	5,000
退職給付に係る資産	753,878	732,308
繰延税金資産	532,115	193,579
その他	3,561,944	2,274,451
貸倒引当金	△116,337	△108,372
投資その他の資産合計	7,010,981	5,579,375
固定資産合計	13,835,333	12,635,441
資産合計	44,002,545	44,178,686

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	9,100,863	9,106,324
ファクタリング未払金	4,355,684	4,570,999
短期借入金	290,938	691,226
リース債務	18,124	24,320
未払法人税等	429,949	178,602
未成工事受入金	1,203,625	1,261,211
完成工事補償引当金	51,116	55,153
工事損失引当金	47,746	77,355
その他	2,773,082	2,016,551
流動負債合計	18,271,131	17,981,744
固定負債		
長期借入金	171,850	120,000
リース債務	30,079	47,213
繰延税金負債	83,072	140,451
役員退職慰労未払金	357,794	362,627
退職給付に係る負債	100,035	82,613
その他	809,065	794,168
固定負債合計	1,551,896	1,547,073
負債合計	19,823,027	19,528,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	896,350	896,350
資本剰余金	1,360,916	1,360,916
利益剰余金	21,314,702	21,703,974
自己株式	△33,652	△33,696
株主資本合計	23,538,316	23,927,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,945	420,172
退職給付に係る調整累計額	336,255	302,152
その他の包括利益累計額合計	641,201	722,324
純資産合計	24,179,517	24,649,868
負債純資産合計	44,002,545	44,178,686

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	64,453,183	67,146,998
売上原価	55,382,974	57,613,232
売上総利益	9,070,208	9,533,765
販売費及び一般管理費	7,420,304	7,913,128
営業利益	1,649,903	1,620,636
営業外収益		
受取利息	2,535	3,348
受取配当金	29,546	37,819
仕入割引	84,835	86,653
不動産賃貸料	79,447	86,674
その他	67,984	59,085
営業外収益合計	264,349	273,580
営業外費用		
支払利息	8,616	10,360
支払手数料	3,294	4,216
不動産賃貸原価	28,482	28,574
その他	2,324	1,399
営業外費用合計	42,717	44,551
経常利益	1,871,535	1,849,666
特別利益		
固定資産売却益	—	3,248
投資有価証券売却益	—	29,513
特別利益合計	—	32,762
特別損失		
固定資産除却損	3,738	673
抱合せ株式消滅差損	11,264	158,298
特別損失合計	15,002	158,971
税金等調整前四半期純利益	1,856,532	1,723,457
法人税、住民税及び事業税	580,313	361,403
法人税等調整額	162,996	358,597
法人税等合計	743,310	720,000
四半期純利益	1,113,222	1,003,456
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,113,222	1,003,456

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,113,222	1,003,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192,111	115,226
退職給付に係る調整額	△40,003	△34,103
その他の包括利益合計	152,108	81,123
四半期包括利益	1,265,330	1,084,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,265,330	1,084,580
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年11月11日 取締役会	普通株式	300,712	26.00	2022年9月30日	2022年12月1日	利益剰余金
2023年4月28日 取締役会	普通株式	266,013	23.00	2023年3月31日	2023年6月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年11月13日 取締役会	普通株式	242,881	21.00	2023年9月30日	2023年11月30日	利益剰余金
2024年4月30日 取締役会	普通株式	254,447	22.00	2024年3月31日	2024年6月3日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	182,335千円	188,924千円
のれんの償却額	34,013千円	53,435千円

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,563,395	54,889,787	64,453,183	—	64,453,183
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,671	1,671	△1,671	—
計	9,563,395	54,891,459	64,454,855	△1,671	64,453,183
セグメント利益	475,038	2,328,628	2,803,666	△1,153,762	1,649,903

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,153,762千円はセグメント間取引消去206,617千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△1,360,380千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,055,651	56,091,347	67,146,998	—	67,146,998
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,878	3,290	7,168	△7,168	—
計	11,059,529	56,094,637	67,154,166	△7,168	67,146,998
セグメント利益	657,602	2,162,183	2,819,786	△1,199,149	1,620,636

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,199,149千円はセグメント間取引消去209,155千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△1,408,304千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。